

日本維新の会の安浪順一です。

約30年ぶりの一般質問です。よろしくお願いいたします。

また今回の一般質問においては、わが維新の会は全議員7名が質問をさせていただきます。

よって私の持ち時間も30分と限られておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは質問に入らせていただきます。

一問目は 少年スポーツのグラウンドについて、学校開放について

二問目は 本市の観光事業についてです。

まず一問目の少年スポーツのグラウンドについてですが、私は子供が大好きで、野球が大好きで、スポーツ少年団野球支部の役員や、親睦野球で15団が所属し、独自でリーグ戦をやっております。

そんな親睦野球リーグの役員もやらせていただいております。

他の少年スポーツはよくわからないので、少年野球を中心に進めていきたいと思えます。年間を通じて数多くの大会が開催されています。役所の皆様も見にいかれた事があると思えます。会場へ行くと下は1年生から上は6年生まで色んな年齢の選手がいます。

私達、大人の顔を見ると深々と頭を下げ「おはようございます」「こんにちは」と、大きな声で挨拶をしてくれます。

思わず私も大きな声で「おはよう」「こんにちは」と何回も挨拶をさせて

いただきます。

各団は代表者、監督、指導者によって形成され、団によって人数も違いますが、それぞれ手弁当でボランティアで子供達を指導してくれています。学校生活では出来ない教育をしてくれています。

それも学校の休みの土曜日、日曜日、祝日、先生方の目の届かない日です。野球の技術はもちろんの事、体力、根性、気力、礼儀、そして仲間を思いやる、絆を徹底的に指導します。選手の親御さん方は育成会を作り、朝は早くから子供達の弁当を作り、一日中子供達と行動を共にしています。教育委員会はそんな活動をどう思われていますか。

お伺いいたします。

今年、わがリーグから全国大会に出た団があります。

高円宮賜杯 全日本学童軟式野球大会 マクドナルド。所属する各都道府県支部の予選大会で、優勝したチームが出場することが出来ます。

全国約12,000チームから勝ち抜いてきた強豪チームが出場する本大会は、まさに「小学生の甲子園」と呼ばれる夢の大会です。37回を数え平成21年より明治神宮野球場で開催されています。

残念ながら決勝で負けましたが、神宮球場で素晴らしい戦いをしてくださいました。負けたとは言え全国2位になったのです。まさに尼崎の代表として出場してくれました。

市長や教育長は そんな選手の活躍をご存知ですか？

少年野球をやっている子供達は、中学、高校と野球を続ける子供が沢山い

ます。その子供達の中には、高校野球で甲子園に出場した選手も沢山います。プロになった選手もいます。その子供達が活躍すればするほど、尼崎の名前が日本中に轟くのです。本当に夢のある素晴らしい事です。そこで伺いいたします。

各団が抱える問題として、練習場や試合のグラウンドを確保するのに大変苦勞しています。幸いにも43号線南に何年も使っていない民間の土地があります。その土地を少年野球や少年スポーツをしている子供達に貸していただけるよう市が協力出来るのでしょうか？又、その考えがあるのか、お聞かせいただきたいと思います。もう一つ学校開放です。学校教育法137条学校教育上支障のない限り学校には社会教育に関する施設を附置し又は学校の施設を社会教育、その他、公共のために利用させることを出来る。という学校教育法があります。

少年野球の各団も、学校開放でよく校庭を使わせていただいております。大会や試合となりますと遠方からくる団もあり、遠方からくる団は、ほとんど車で来られます。そんな時、校門の前に車を停めて子供達の乗り降りをさせたり野球の道具の出し入れもしておられます。

見てて大変危なく近所の住民の皆様に変な迷惑をかけています。

そこでお聞きします。

学校教育法137条で言えば、校内に車を入れるのは可能ではないでしょうか？可能なら、なぜ校内に車を入れていただけないのか その訳をお聞

かせ下さい。

よろしく願いいたします。

第一問といたします。

それでは第二問にうつりたいと思います。

本市の観光事業についてです。

本市は町の活性化の一環として「近松の町」として多額の予算を使ってきましたが、その間の成果と実施に当たっての問題点をどのように検証しているのか、お伺いいたします。

「平成30年度には本市発祥の地である城内地区に尼崎城が寄贈を受け再建されることから、これを契機とした観光地域づくりの取り組みを始めた」とあります。具体的にどのような取り組みを始めたのかお伺いいたします。

本市は従来から観光産業に力を入れてこなかったと思います。この尼崎城を突破口として観光都市として施策を推進するお考えはあるのでしょうか。お伺いします。

近年、外国人の観光客が増え、東京、京都、大阪の大都市には観光客があふれ返っています。特に近隣の大阪の南部には沢山の観光客が押しかけ、ホテル不足やテナントも足りず、経済効果も大きなものがあります。しかし、この大阪に隣接した本市には、ついで観光客の姿を見ることはありません。

せん。

この外国人の観光客に、本市に来てもらう何かお考えはあるのでしょうか。そこで私の提案ですが、観光地域づくりの取り組みではなく、早急に観光課を作るお考えはあるのでしょうか。お伺いいたします。

近松公園、東の大阪伊丹線、2車線の道路を1車線にして1車線を歩道と自転車道に分ける、まさに本市にうってつけの道路と思います。本市は平坦な土地です。この道路を、尼崎城を中心に100年の森、そして近松寺をはじめ、本市の名所をめぐり田能遺跡まで繋ぐ、そうすれば本市を歩いて、又は、自転車で安全に一周出来る、まさに観光の目玉として本市全部を公園化する、と言うのはいかがでしょうか。

もちろん外国の観光客にも歩いてもらうのです。歩いてもらう限り、歩いて回りたいと思うだけの物を作っていかなければなりません。

地域や任官にお願いをして休憩する所や、茶屋、みやげ物売場 考えれば色々な事が広がっていくのではないのでしょうか。

もし時間がなく、途中で帰る人には、本市には阪神バスが走っていますので、それに乗って帰ってもらう。今度来た時には、またバス停からスタートする。考える事はたくさん考えられます。それを、観光課を作り、そこでやっていくと言うのはいかがでしょうか？

工業の町 労働者の町から180度方向をかえて、自転車や歩いて楽しめる公園の町を作るお考えはあるのでしょうか。お伺いします。

また、歩くことは、本市が掲げるヘルスアップ、尼崎戦略にもつながり、

今後の要望にもつながります。本市の、ひと咲きまち咲き担当局の資料によりますと、本市の高齢者の平均年齢、健康寿命とも、阪神間で最も短いようです。健康寿命とは、介護を受けずに自立して生活している期間です。歩くことによって生活習慣を改善すれば、健康寿命は伸びると言われています。認知症にも歩くことが予防につながります。そしてその道路に緑や花を増やすことにより、本市のイメージアップにもつながります。尼崎の工業の町から、公園の町に観光の町に生まれ変われば、マスコミも注目してテレビも取り上げてくれます。そうすれば、大阪に10分で行ける、神戸に20分で行ける、そんな交通に便利な本市に住みたい、住もうと言う若いファミリーが増えるのではないのでしょうか？今がその時ではないのでしょうか。

尼崎城が良ききっかけになると思います。そこでお伺いいたします。

本市を観光都市と180度変えるお考えはありますか？

お伺いをして 第2問を終わります。

これからは要望のみとさせていただきます。

少年スポーツ、野球もそうですが、サッカーなども本当に練習場や試合するグラウンドに困っています。ある団などは、名神高速道路下でキャッチボールや素振りの練習をしたり、狭い所で一所懸命練習をしております。試合になると川西や三田まで行くことがあります。行くだけで1時間近くかかることもあります。大変苦勞しております。

スポーツでがんばっている子供達に、グラウンドを作っていただくことを節に要望いたします。学校教育法第137条学校教育上支障のない限りとあります。おそらく支障があると判断され車の乗り入れを拒んでおられると思います。それは、いつ何時でも学校内の事故は校長先生責任になるからでしょうか。それならば、本市の条例か何かで土曜、日曜、祝日に限り利用者の責任とすれば、車も校内に入れれるし、空き教室も使えるようになるのではないのでしょうか。

校長先生の土、日、祝日の責任を外す事を要望いたします。

そして最後に私が大変尊敬する、その方は生粋の尼崎の方で、老人会長や昔は町会長や本市で色々な活動された方ですが、私が市議に当選した時に言われた事があります。

日本中が嫌がり、困っている、そんな事を本市で受け、国からお金をもらい、本市の発展に使ったらすべて解決すると、ここでは言えない事をさらりと言われました。その後で、わしも出来るとは思っていないし、やったら困るわ、とも言われました。しかし、それぐらいの覚悟でやらないと本市は立ち行かなくなるぞ。と、本当に私など考えもつかない事を言われました。

覚悟をもってやると言うのは、そう言う事かもしれません。先日、本市の人口についても説明を受けました。何年に何人減る。人には寿命があり減るのはわかります。そうじゃなく、若い人に本市に住んでもらい、人口

を増やすことをなぜ考えないのでしょうか。

第2問の質問で私の思いをこめた質問をさせていただきました。それを夢と思わず、観光課を作り、尼崎公園化を進めなければ、若い人達におもしろい町があると、本市に来てくれるかもしれないし、交通面や立地面は、最高に良い条件です。住んでくれるかも知れません。私の思いを真剣に考えていただく事を強く要望いたします。

本市にお城が出来ます。20年後、30年後、このお城が本市のシンボルになるかお荷物になるか、お城を作った観光事業、しっかりやっていただくことを節に要望して、私のすべての質問を終わります。

ありがとうございました。